

パスター大倉の牧師室から



私達は今、水曜・木曜集会でエステル記を学んでいます。この書にはモルデカイとエステルというユダヤ人の親子が登場します。かつてバビロン

に捕囚されたユダヤ民族でしたが、時代は変わり、この二人はバビロンの後に興ったペルシャのアハシュエロス王の治世に生き、ユダヤ民族の危急存亡を救い、モルデカイはユダヤ人でありながら、ペルシャにおいて王に次ぐ者へと引き上げられました。

過去にペルシャがありました場所は現在のイランであり、その首都テヘランから200マイル離れたハマダンという場所に築500年となるこのモルデカイとエステルの墓が今も現存しています(現在のハマダンはエステル記1章5節に出てくる古代都市スサで、今ある墓地の建物は後世に再築されたもので、これ以前の墓は14世紀のモンゴルの侵略によって破壊されたと言われています)。

私達が心に思うことは、よくぞユダヤ人の英雄の墓が現代のイランにそのまま残されているということです。ご存知のように現在のイランは世界で最も強く反イスラエルを掲げる国だからです。しかし、そんな私達の心配をよそにこの墓には毎年、プリムのシーズンになりますと多くのイラン在住のユダヤ人が訪れます。

昨年、この墓を訪れたスウェーデンのジャーナリスト、アヌカ・ロシユテインによりますと、当初、彼女はこの墓は荒れ果てているに違いないと思っていたようですが、実際に行ってみるとよく整備されていたそうです。この墓の場所をハマダンの町で尋ねると、町の人たちは皆、その場所を知っており、そこに葬られている人が誰であるかということも知っていたといえます。

1970年、イランには10万人のユダヤ人がいましたが、その後、1979年のイラン革命により、イスラム国家が樹立し、今日、イランにいるユダヤ人は3万人と減りましたが、このコミュニティーはイスラエル以外の中東地域では最大のものとなっています。2010年この墓はイランの国定遺産となり、政府の保護のもとに置かれましたが、翌年、反イスラエルの抗議デモが墓を包囲し、墓が破壊されそうになり、以後、この墓は国定遺産のリストから外され、プリムはユダヤ人によるイラン人の大量虐殺をあらわすものと公式の声明で伝えられたといえます。しかし、以来、この墓が破壊されることはなく、今もよく管理されて残されています。この墓が無傷でイランに現存しているということの背後に神様の御手のはたらきを感じずにはおれません(そうです、エステル記には「神」という名前は一度も出てきませんでしたが、まさしく彼らの墓は現代の神の摂理を私達に示しています！)。

追伸:モルデカイとエステルの墓と言われるものはもう一つ、イスラエルとレバノンの国境近くのバラムにあるそうですが、私にはこのイランの墓のほうが本物のように思えてなりません。

お知らせ

■3月12日にマイヤー小夜子姉の入会式がもたれ、キリストのからだなる教会に加わりました小夜子さんの入会を喜びました。

■3月18日(土)、午前9時から午後5時までミニストリーコンサルタントのバック・ロジャース氏をお招きしてリーダーシップ・ミーティングがもたれます。

■3月25日(土)、午前8時より教会大掃除がもたれます。私達が一年間、使用した主の宮です。今年も皆で心を込めてきれいにしましょう。今年は諸事情により、ダンプスターを設置しませんので、ご家庭からの粗大ごみを受け入れることはできません。

■4月9日(日)の午後、25ストリートにあるゴールデンヒル公園でイースターピクニック(エッグハント)を予定しております。ご家族、ご友人をお誘いください。

■4月14日(金)はグッドフライデーです。今年は午後七時より、教会にてグッドフライデーサービスをもち、主イエスの十字架を想うひと時とします。このために日語部から三名の方にイエス様が語られた十字架上の言葉のうちの三つをシェアしていただきます。希望なさる方は牧師までお尋ねください。

■4月16日(日)はイースターサンデーでサンライズ礼拝があり、その後に朝食、そしてイースター礼拝がもたれます。

■5月28日(日)、今年も恒例のチャーチピクニックを予定しています。この日はAdmiral Baker fieldにて10時より野外礼拝がもたれますので当教会での礼拝・集会はありません。Admiral Bakers Field: 2400 Admiral Baker Rd., SD, CA 92120 今から予定にお入れください。その日はポットラックランチもサーブされます。

■今年の修養会は7月4日(火)から7日(金)までサンタバーバラのウエストモントカレッジでもたれます。今年のテーマは「こおんなな生き方あったのか!」で、新しい試みとして午前は『境界線』の翻訳者である中村佐知氏の実践的なセミナーがもたれ、そのセミナーに連動して夜にはホノルル教会の関真士師が聖会メッセージを取り次いでくださいます。今から予定に入れましょう。

■上記の夏期修養会の会場となるサンタバーバラとサンディエゴ間の交通手段を決めるために、事前に希望乗車人数を知りたく願っております。今年の修養会に参加する予定で、何かしらの交通手段を希望される方は八尋ホールのサインアップシートにお名前をお書きください

(現在、バス、バン、鉄道等・・・、最善の交通機関を調べています)。

■私達の教会では通訳、カレーランチ、チルドレンチャーチ、ナーサリー、グリーター、アッシャー等、主にお仕えしてくださる方を募っています。神様から与えられているものをもって、主イエス様の手となり、足となりましょう! このことについて志がある方は牧師まで、お知らせください。

■教会では今、セキュリティチームの設置を試みています。このはたらきは主に日英の礼拝中に教会の内外を見回ること、教会の安全を目指します。

■私達の教会の今年の標語は「友情を育む」です。そこで教会では日曜日にカップヌードルをお分けするようになりましたあの人の話しを聞きたい、聞いてほしい、祈り合いたい、学び合いたい等、簡単なランチと共に友達との時間のためにお使いください。

■ご自宅で必要ではなくなった物が教会に放置されることがあります。寄付として置いていってくださっていることかと思いますが、このような場合はまず牧師におたずねください。原則的に教会ではチャリティー団体のように物品のドネーションを常時、引き受けておりません。